

令和7年9月定例会議員提出議案目録

議第 1号 「徳島県平和の日」の条例制定を求める意見書

議第1号

「徳島県平和の日」の条例制定を求める意見書

阿南市議会会議規則第14条第2項の規定により、上記の議案を提出します。

令和7年9月25日提出

阿南市議会議長 湯 浅 隆 浩 殿

提出者 総務委員長 住 友 進 一

## 「徳島県平和の日」の条例制定を求める意見書（案）

1945（昭和20）年7月4日、徳島市は大空襲により住宅区域の74%が廃墟となり、市内人口の6割にあたる約7万人が被災し、死者約1千人、負傷者約2千人とされる甚大な被害を受けた。徳島県内ではこの他にも、少なくとも35か所で死傷者600人以上の空襲被害が出ている。

私たちは、先の大戦で、戦争の悲惨さ、恐ろしさ、そして何よりも人間が殺しあう愚かさについて、身をもって体験し、戦争の悲惨な体験が、世界の恒久平和を希求し、戦争を放棄した日本国憲法をつくりあげ、戦後日本の奇跡的な繁栄を築いてきた。

こうしたことから、大空襲をはじめとする戦争の悲惨な実相や体験を風化させることなく、再び誰もが戦争の惨禍に巻き込まれないよう、過ちが再び繰り返されることのないよう、次の世代へ語り継いでいかなければならない。

2025年は、徳島大空襲から80年、そして終戦から80年という節目の年を迎える。平和憲法の理念を暮らしに活かすために、徳島県の「非核の県」宣言に基づき、県民が再び戦争の惨禍に巻き込まれることがないよう、平和を希求し、基本的人権を優先した社会をめざすことを確認する日とするため、徳島大空襲の日である7月4日を「徳島県平和の日」とする条例をこの節目の年に制定することを求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年9月 日

徳島県阿南市議会

提出先 徳島県知事